球団マスコットキャラクターはなぜ「やんちゃ者」になったのか
『Why baseball team mascots became mischievous?』

1K07B056-9　　金子由良
指導教員　主査:　武藤泰明教授　　副査：リー・トンプソン教授

【緒言】

近年、プロ野球球団マスコットの中でも「やんちゃ者」のキャラクターが野球ファン以外にも人気を博している。記憶にも新しい「ドアラブーム」を筆頭に、特徴的かつ特異な性格・行動を持つマスコットキャラクターたちが低迷するプロ野球界を大きく盛り上げてきた。しかし前時代の彼らは決して『やんちゃ者』ではなかった、実に模範的な『優等生』であったのである。ではどうして彼らは現在のスタイルをとるようになっていったのか、また彼らは今後のプロ野球界においてどのような存在となっていくのか、これらの疑問について考察していくことが本論文の目的である。

【方法】

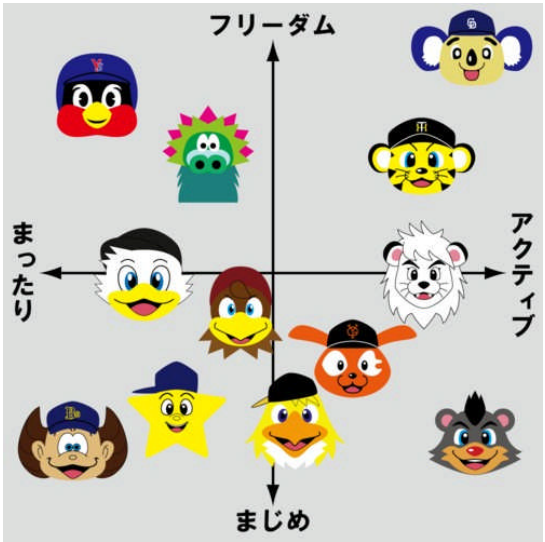
まずは第二章・第三章にて「キャラクター」について振り返り、その中からスポーツ界のマスコットたちの登場背景を探っていく。そこからプロ野球のマスコットに焦点を当て、彼らの歴史と近年の動向を振り返る。

第四章では 2010 年現在の 12 球団公式マスコットという枠と、その誕生から現在までの一般層に及ぶ人気を得ている球団マスコットという枠で計 26 体に、独自に以下の 8 項目での分析を施した。

a.外見的特徴　b.性別　c.実体のモチーフ
d.パーソナリティー　e.行動の特徴
f.家族構成　g.登場時期
h.球団公式マスコットであるかないか

【結果】

項目 a ではマスコットにはカッコイイ外見が多いことがわかった。項目 b でほぼ全ての正マスコットが男であることがわかった。項目 c は動物モチーフが多いことが判明した。項目 d で公式マスコットには優等生が多く、過去から現在までに一般層へと人気が広がった者は総じてやんちゃ者であることがわかった。項目 e はアクティブな者が多いとわかった。項目 f ではペアで活躍するキャラが多いと分かった。項目 e で 1990 年代がマスコットキャラ誕生全盛期とわかる。項目 h では近年、非公式キャラクターが増えてきたことがわかった。

【考察】

その誕生以来、マスコットのイメージやパーソナリティーはテンプレート化してしまった。ファンからのマンネリ、マスコット増加による個性の平凡化、そしてプロ野球自体の人気低迷を打破すべく生まれたのが「やんちゃ者」である。時代とともにマスコットに求められる「個」は変容しているのだ。しかしいつにおいても変わらないのは彼らが愛すべき存在であるということである。